



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒 662-0977 西宮市神楽町
5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0798)35-5987



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2023年5月会報 第413号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP) Ulik Lauridsen (デンマーク)

主 題 「輝かそう、あなたの光を」 'Let your Light Shine'

スローガン 「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」

Good Communication Is the Cornerstone in Every Cooperation

アジア太平洋地域会長(AP) Shen Chi-Ming (台湾)

主 題 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」 Elegantly Change with New Era

スローガン 「今すぐ実行を」 Doing It Right Now

西日本区理事(RD) 田上正(熊本むさし)

主 題 「原点を知り将来に生かす」 Know the origin and utilize it in the future!

スローガン 「立ち上がれワイズモットーと共に！」 Stand up Y's Men with our Motto!

六甲部長 若林成幸(宝塚)

主 題 困難な時にこそYMCAと共に進もう

宝塚クラブ会長 小林康男

主 題 みんなでつなごう心の輪 笑顔で健康 笑顔で幸福

今月のテーマ Youth Involvement Activities

将来のワイズメンズクラブとYMCAのために
ユースの活動を支援しましょう。

Y・サユース事業主任 清水 淳 (とやまクラブ)

2022年 35周年記念例会(祝賀会)

日 時 : 2023年5月21日(日) 17時~19時

場 所 : 宝塚がんこ苑

会 費 : 5000円

司 会 長尾 亘 多胡葉子

開会点鐘 小林康男会長

ワイズソング 全 員

聖書朗読・祈祷 福田 宏子

来賓挨拶 神戸 YMCA 総主事 井上真二氏

西日本区書記 上村眞智子氏(理事代理)

西日本区地域奉仕・環境主任 伊藤文訓氏

乾杯 鹿児島クラブ 松永英明氏

食事・懇談

ゲストの言葉

来賓・ゲスト紹介 司 会

各委員会報告

YMCA報告

誕生日のお祝い 会 長

ニコニコファンド

2022~2023 役員	会長	小林康男
	副会長	郡家 学
5月 誕生日	書記	福田宏子
	会計	郡家 学
	会計監査	吉田 明 加藤光信
	担当主事	橋本 唯
	メネット連絡	小林貴美子
	直前会長	福田宏子
	長尾 亘(7) 鯖尻佳子(23)	
	小林康男(24) 杉谷和代(26)	
4 月 実 績	片西順子(6)	
	例会出席者数	26名(ズーム名)
	在籍会員数	20名
	出席会員数	14名(ズーム1名)
	出席率	70%
	メイクアップ(内数)	0名
	メネット・コメント・孫メット	2名(ズーム0名)
	ゲスト・ビジター	8名(ズーム0名)
	例会充足率	130%
	アソシエイト会員	2名(ズーム1名)
ここにBOX		0円
	累 計	52,510円
	ファンド(豚 肉,他)	5,000円
	累 計	17,880円
	(真菰茶)	0円
累 計	93,300円	
ファンド合計	163,690円	

聖 句

「しかし実際、キリストは死者の中から復活し、眠りについた人々の初穂となられました。」

(コリントの信徒への手紙(一) 16:1-2)

随 想

死者の中から復活したイエスが「初穂」であれば、それに続くわれわれにも復活の希望がある。これこそ初代キリスト者たちの信仰でした。そしてその信仰は、現代の私たちにも大きな影響を与えています。

「ホスピス」がもともと古代・中世に巡礼者や貧困者を救済する施設だったことを知っている人は多くないかも知れません。19世紀にアイルランドの修道女たちが、死にゆく人々を専門に世話する施設を造り、それに「ホスピス」と名付けたことが、この名が復活するきっかけでした。この施設はやがて隣国イギリスに伝わり、そこでこれを知ったシシリー・ソンドースという人が、医療施設としてのホスピスが必要だと確信し、1967年ロンドン郊外に「聖クリストファーホスピス」を設立しました。これが、今わたしたちが目にする「現代ホスピス」の始まりです。

ソンドースの伝記や手記を読むと、彼女が現代ホスピスを設立しようと決意した背景には、医師・看護師として多くの患者を失うという臨床経験と共に、若い日からのシンプルかつ率直な彼女自身の信仰があったことがわかります。

死は単に命の終わりではなく、新しい復活の命の始まりでもあるのだから、終末期の医療もまたそれにふさわしいものにしなければならない。

もう助からないから、悲惨な患者を見るのは辛いから、と誰も近づかなくなり、患者は寂しく孤独に死んでいく・・・そんな状況は変えなければならない。

それには最先端の医療支援と古代以来の魂の救いが両方必要と考えたのです。

こうして、医療用麻薬等を適切に使った完璧な疼痛コントロールと、宗教者など専門スタッフによる魂のケアとを、同時に行うことができる施設「現代ホスピス」が誕生したのです。このアイデアは多くの人々の共感を得て、瞬く間に世界中に広がりました。

そして日本にも伝わり、今日見るように多くの同様の施設が作られて来たわけです。復活の信仰が現代社会に影響を与えている一例だと思います。

金田俊郎

4月第一例会報告

ほぼ定刻どおり4月第一例会を石田氏ドライバーにより、会食後、小林会長の点鐘から始まりました。



各ゲスト紹介の後、ゲストスピーカーは、能楽観世流の上田宜照氏です。『能』について、面の表現・装束紋様について学び、全員でジャパントップを楽しみ、終盤に代表格の「高砂」の謡いを教えて頂き、上田氏の舞と共に全員で謡曲もどきを楽しませていただきました。江戸中期古楽の別方向として、生れた『能楽』は、礼乐的素養



に欠けると、象山琴学等に儒者としての主張がありました。200年を経ての能楽は、古典芸能として歩んでいるように思われました。

その後、次月当クラブ周年記念事業の共有部分の話など、時間が少し足りない位でしたが、閉会点鐘までスムーズに流れ終えることができました。



郡家 学

4月第2例会報告

日 時 : 2023 年 4 月 19 日 (水) 13:00~ 第 2 例会終了後、引き続き35周年記念事業実行委員会

場 所 : 宝塚西公民館

出席者 : 青柳、石田、郡家、小林、多胡、福田h、若林、

議 題

1. 例会の運営

1. 35周年記念例会 5月21日(日) ソリオホール 14:00~

「子供たちの平和な未来を考える」

① 講演 弓狩匡純氏

② ミュージカル「I PRAY」木原世宥子氏

③ 記念祝賀例会 がんこ苑 17:00~

2. 6月例会 6月14日(水)18:30~ 西公民館

2. 各事業報告

1. 西日本区・六甲部:

・西日本区大会 6月11日(土)・12日(日) 熊本市

参加予定者 若林、小林夫妻、多胡、石田、福田 h 福家、長尾

準備:・追悼文

- ・バナーセレモニー ・部長報告(クラブ報告) ・EMC 集計表(3月まで)
- ・ファンド販売

2. Yサ・ユース:

3. 国際・交流

- ・神戸ポートクラブ チャリティーコンサート 4月22日(土)14:00～
神戸聖愛教会 チケット10枚(協力金1口 1,000円) 預かり

4. 地域奉仕・環境

5. 新玉ねぎファンド (神戸ポートクラブ)

3. ブリテン(長尾):

5月号は35周年に当たるので全員のメッセージを記載する

4. YMCA 報告(橋本):

5. その他

アソシエイト会員のYMCA維持会員の継続

宝塚クラブの創立記念事業は間近に迫ってきました。

会員・アシスタントの総力を傾けて、この事業の円滑な運営にご協力を
よろしくお願い致します。以

六甲部 CS 事業 Week for Waste

4月8日に六甲部各クラブから25人のメンバー(宝塚クラブからは小林会長、喜美子メネット、石田ワイズ、福田hワイズ、青柳ワイズ、多胡ワイズ)が神戸市役所に10時に集合。東遊園地の一角には2月23日にワイズ100周年を記念して植樹されたソメイヨシノ桜が花をつけ終わった後が見られ順調に育っている様子も確認された。

廣瀬CS事業主査から黄色のお揃いのチョッキ、軍手、ゴミ袋などが配られ、新しくオープンし

たての神戸市、東遊園地から神戸YMCAまでの道のりを2グループに分かれてゴミを拾って歩いた。

前日が東遊園地のオープン日だったからか、神戸市の玄関口通りにあたるためか、また、

日本人のマナーの良さか、各自のゴミ袋がいっぱいになることはなかった。が、三宮駅からYMCAまでの道のりにはタバコの吸い殻、空き缶、瓶などが植木の間に捨てられていた。



ワイズの登り旗を持って歩いていたので、「YMCA」かと声かけしてくださる方々も

あった。1時間半の短い奉仕、お天気に恵まれたこともあり、みんなでいい汗をかき、集合写真を撮って解散となった。

CS 担当 多胡葉子

他クラブ訪問

神戸クラブ 4 月第一例会に出席

4 月 11 日に神戸 YMCA チャペルで開催された神戸クラブの例会にゲストとして出席した。例会のスピーカーは大阪大学再生誘導医学協働研究所所長の遠藤誠之先生。演題は「次世代に向けての子育て支援～胎児治療からの母子支援」と題しての興味深い卓話。

まず初めて耳にする胎児治療。妊娠中の母体にいる間に胎児に異常が見つかった時に行われる治療。映像を通してのその治療の様子などにとても信じられない思いで、見、聞きした卓話だった。

まだ日本ではその治療ができる病院、医師などは少なく、事例も年間 100 人ぐらいとのこと。医学の進歩に本当にびっくりする。遠藤先生はお子様方と共に余島キャンプのファンとのこと。

アピールタイムで宝塚クラブ 35 周年事業のお知らせと第一部、二部ともに参加の呼びかけをして今日の神戸クラブの例会への参加の目的も果たした。

多胡葉子

35 周年記念へ思いを一言

チャーターメンバー

1981.3.21 入会 加藤光信

学生時代教会に通っていた縁で宝塚クラブに入会。藤森メンを筆頭に経験豊富なメンが揃う。当初は宝塚 YMCA 会議室での例会が主。年間行事としてのバザー、ジャガ芋販売、市民クリスマス会等、多くの実績をあげる。

西宮 YMCA に宝塚 YMCA が吸収された後は、西公民館、宝塚ホテル、宝塚教会での開催となる。

コロナ感染拡大の 3 年余り、私達の日常生活は変容を強いられた。この間の例会はオンラインで参加が加わり一度も中止せずに実施できた。

35 周年記念例会開催を喜ぶたい。



35 周年を迎えて

チャーターメンバーも歳を重ね、現在では 4 人。そのうちの一人である。地域、国内、国際での交流・活動の輪は年ごとに広がって楽しんできた。この 3 年間のコロナ禍、種々なる制約が課されてきた日常生活の中でもワイズ活動はその中から新しいものが生み出された。ZOOM 例会、YouTube で One Christmas の発信、西谷地域での交流など。今までとは違った発想も取り入れることのできる宝塚ワイズのメンバーとの交流と活動は以前にも増して豊かな生活の場になっている

チャーターメンバー

1988.3.21 入会 多胡葉子



チャーターメンバー

1988.3.21 入会 福田宏子

学生時代の4年間、YMCAのボランティア活動に従事、その後、社会人、子育てが落ち着いたころ、再びボランティア活動を思い立ったのが、1985年の神戸ユニバーシアードでの通訳以来、宝塚にYMCAが設立され、同時にワイズメンズクラブも設立、チャーターメンバーとなった。35周年を迎えた現在、当時のメンバーとのお別れが増しつあるのが辛い、世界中のメンバーとの出会い、再会等を通じて、世界が広がった。

今後は、ボランティアのメンバーとの活動を通じてその魅力、楽しさ、社会貢献、意義等を、自己研鑽をしつつ、若者に伝達、同時に育成の可能性を追求したい。



2002.7.10 入会 長尾 亘

5月21日に35周年を迎えるにあたり、自分が大阪土佐堀クラブから転会してきたのが何時か総会資料を開いてみました。2002年7月で今年21年目で大阪土佐堀クラブ在籍年数より永く成りました。現在の会員名簿を見るとチャーターメンバーの加藤光信さん、多胡葉子さん、福田宏子さん、吉田明さんの4名の後に私の名前が有ります。私が転入会した後もメンバー入れ替わりが沢山ありましたが、現在会員20名、アソシエイト会員6名で35周年を迎えることが出来て良かったと思います。



2003.1.8 入会 若林成幸

宝塚クラブは、YMCAサポートと地域貢献を主な課題として運営されてきた。市民クリスマスは連続18回を数え、この時期の名物行事として地域に定着した感があるが、もう一つしっかりしたプログラムが欲しいとチャンスを覗いていた。今回「子どもたちの平和な未来を考える」を催す運びとなったが、準備期間における色々な方との出会いから、「平和をつくりだすプログラム」に繋がられないか、と考えたら、クラブには既に二つ三つの新芽が顔をだしているように思う。40年に向けて楽しみを増やしていきたいものである。



気がつけばワイズメンバー

2004.4.14 入会 石田 由美子

「リタイアしたら何するの?」って会社のOB会で福田宏子先輩に聞かれて「う〜ん、ボランティアなんか考えてます」と答えた結果引っ張られ入ったのが宝塚ワイズメンズクラブ。「ワイズって、YMCAと関係あるんですか?」とはストライクゾーンの質問でした。中学部、高等部の6年間、学校の夏休みプログラムで余島キャンパーを経験し、楽しいという思い出しかないYMCAでした。あの頃の自分の世界を思うと今ある自分の原点なのだと思います。



年寄りの戯言

2008.6.11 入会

青柳美知子

年寄りとは昔の話をするのが大好きだ。私も全くそのステレオタイプだ。ワイズと出会って私も 35 年。20 年間のメネット(例会に出ない)生活の後会員になって 15 年になる。きっかけは前年にメネット主査を引き受けてワイズメンズクラブの事が良く分かったから。外野に居た 20 年間のメネット生活も実に楽しかった！ 会員であった主人も例会の後必ず行ったカラオケを楽しみ、良くあった野球大会、お餅つきまでしたバザー、食べ物満載の持ち寄りクリスマスパーティー、あの手この手で皆で接待した IBC のデンマークギブクラブからのお客様、病みつきの国際大会への参加等と次々と昔話は出てきてしまう。



あーあ、主人と私の人生はワイズメンズクラブのおかげで、豊かで素晴らしいものになった！最近のテーマは「感謝」と「老兵は去るのみ」の二つ。

2009.7.1 入会 武田寿子

宝塚ワイズメンズクラブに転入させていただいたのが 2009 年で、まだ仕事も現役で、なかなか例会にも出席できなかったので、いつもはつらつと様々な地域奉仕にエネルギーを発揮している会員のパワーに圧倒されておりました。今も私たちのクラブは変わらぬ情熱で YMCA を支え、地域に根差した奉仕を展開していますが、40 年目にむかって次世代への継続が必要だと実感しています。



2011.7.1 入会 鯖尻佳子

2011 年に宝塚ワイズメンズクラブに福田宏子ワイズのご紹介で入会させていただきました。入会して 5 年目に会長を経験させて頂き六甲部は元より広く西日本区のワイズの方々とも親しくなり交流の場が広がっていきました。今までお花の世界しか知らなかった私にとってワイズの方々との交わりは楽しく心温まるものです。今は主人のサポートで活動で滞っていますが、また皆さんと活動出来る日を心待ちにしている日々です。



宝塚 Y's に入会してー

2011.7.1 入会 杉谷和代

コロナ後はほぼ休会状態ですが、2012年の入会后ずいぶんいろいろの体験をさせていただきました。

奉仕活動は人生で初めてのことで、Y'sを通して社会を考える、また子供たちの未来を考えることなど新しく、充実した学びがありました。Y'sの皆さんの熱心な奉仕の姿勢に心を打たれながらも私自身は、最近はおっぱら無活動です。しかし Y's のお陰でシアトルの Y's との出会いがあり、会員にもなり、幸い Zoom を通して、また現地でも彼らとの交流は続行中です。しかしアメリカと日本の Y's の活動の違いを深く感じます。



2017.7.12 入会 小林 康男

宝塚ホテルの美味しい料理を食べながら、楽しいお話が聞けるよ」と合唱団の先輩から誘われて、何度か例会に参加している間に、「もう入会資格ができた」と言われ、2017年7月に入会。早6年が過ぎました。

2018年6月に神戸で開催された西日本区大会のお手伝いをさせて頂き、ワイズメンズクラブの大きな力を感じました。

役員になれば、クラブのことが分かるようになる」と言われ、会計の役をさせていただき、少し慣れた今年度は会長の役を仰せつかりました。今年度は創立35周年記念事業を開催することになり、皆の協力で準備が着々と進んでおり、感謝する毎日です。



2018.3.21 入会 福家清美

「日本という国は、広島原爆投下に対して、報復ではなくて、平和という崇高で高い精神で訴え続けています。広島の人々と共に、ワイズの一員として、私も「平和」を、根強く心から訴え続けていきます



2018. 9. 12入会 風早寿郎

コロナを乗り越えた新たな時代の幕開けが近いのでは。今までとは異なる価値観と方法で、本当に大切なものを大切にできる持続可能な社会を、みんなで作っていく事が必要だと感じます。

宝塚ワイズメンバーの利他の精神は、時代の最先端であり、今後の社会に無くてはならないと思います。暖かなクラブ。いつも本当にありがとうございます。



5 年間の活動

【2018年7月～2019年6月】

第31代 会 長 青柳美知子

主 題: 「やさしさと笑いで、幸せクラブを作ろう、その中に新しい仲間を！」



- ・ 鹿児島クラブ DBC 交流会報告 2018 年 9 月 1 日(土)、熊本で開催された九州部 部会に鹿児島クラブから 6 名のメンバーが参加されました。6 月の西日本区神戸大会でのブラザー クラブ締結式以来の再会

【2019年7月～2020年6月】

第32代 会 長 多胡葉子

主 題 ときめきライフをワイズ活動で！



- ・ 第 28 回アジア太平洋地域大会は、津波、原発の問題を抱え、仙台で開催
- ・ 多胡会長の孫 石田 大樹君が STEP 事業で宝塚クラブと IBC 交流のあるデンマーク GIVE クラブがホストクラブとなり、出発
- ・ 鹿児島 YMCA10 周年 鹿児島ワイズメンズクラブ 30周年訪問(2020年1月)
- ・ 新型コロナウイルス感染症が流行、2019 年 12 月中国・武漢市で発生から数ヶ月でパンデミックに
- ・ 3 月例会の中止に至って
- ・ Covid19 の緊急事態宣言を受け4月第1例会及び第2例会を中止クラブとして初の Line ビデオ役員会を行った。
- ・ 緊急事態宣言解除による 6 月 10 日の第一例会

【2020年7月～2021年6月】

第33代 会 長 若林成幸

主 題 ポジティブに考え、ポジティブに生きる

Think and live, positive.



- ・ 西日本区理事引継式 ZOOM 会議室
- ・ はんしん自立の家の綿の種取
- ・ みんなでつくる One X'mas ～オンライン コンサート～
- ・ ハイブリッド例会で東京町田コスモスクラブから松香会長、権藤ワイズ、鹿児島クラブから松若会長、中堀国際・交流事業主任、松永九州部部长、園屋ワイズが出席。
- ・ 元国際会長 ウィッチィアン ブーンマパジョンさん ZOOM でのスピーチ
- ・ 六甲部評議会も ZOOM
- ・ 随筆集「私はコロナ禍を斯く生きた～新型コロナウイルス感染症 私たちの体験」発行

【2021年7月～2022年6月】

第34代 会 長 福田宏子

主 題 健やかに、多くを愛でて、朗らかに

Live well, Love much ,Laugh often!



- ・ アソシエイト入会希望者アソシエイトは 8 名となる
- ・ ゲストスピーカー次期西日本区理事 田上 正氏（熊本むさしクラブ）
- ・ 西日本区フラガールズが誕生
- ・ 3 月 26 日 (土) 西日本区オンライン交流会が ZOOM で開催されました。
- ・ 新しいファンド賞品「真菰茶」

【2022年7月～2023年6月】

第35代 会長 小林康男

主 題 みんなでつなごう心の輪 笑顔で健康 笑顔で幸福

Let's all connect heart circle. Smile for health, smile for happiness



- ・ ゲストスピーカーの柳 敏晴様よりデンマークでのYMCA世界大会参加報告
- ・ 2023 年 1 月 10 日(火)、15 時から神戸 YMCA で Welcome to Kobe、アジア太平洋地域会長・Charming Shen さん！歓迎会
- ・ クラブ創立 35 周年記念事業

2022年7月～2023年6月

六甲部長 若林成幸(宝塚)

主 題 困難な時にこそ YMCA と共に進もう」

Let's proceed with YMCA in difficult times.



- ・ 第1回評議会をハイブリッド開催 参加者:リアル 42名、Zoom 6人
- ・ 六甲部拡大役員会(5回)をZoomで開催
- ・ 六甲部部則一部改正
- ・ 六甲部会を宝塚で実施 参加者 129名
 - 第一部 ソリオホール ワイズの地域貢献活動の事例発表会・ポップンリンガーズ出演
 - 第二部 宝塚ホテル 宝塚歌劇の元歌姫 絵莉千晶さんを迎え楽しい懇親会
- ・ YMCA サポート…YYYフォーラム・チャリティーラン 2022・絵本プロジェクト…を実施
- ・ 第2回評議会をリアルで開催 参加者 43人

チャーターメンバー

1988.3.21 入会 吉田 明



2004.4.14 入会 堀江 祐一



2016.2.10 入会 重松えみり



2018.3.2 入会 今田和子



2018.9.12 入会 福田素子



2020.7.8 入会 郡家 学



2022.7.1 入会 アソシエイト会員 石原美生子

35 年前のチャーターナイト、まだ古い平屋だった宝塚教会礼拝堂での式典は覚えていないのですが、小さな集会室にあふれる若々しい熱気だけは今でも鮮明に思い出されます。おめでとうございます。35年後の今こうしてアソシエイトとして連ならせていただけますこと感謝です。キリスト教ボランティア精神に基づく国際国内交流、協力、支援の活躍に敬意を払い、増々のご活躍を祈りま

2022. 7. 1 アソシエイト会員

片西順子 喜多邦子 松永千香 丸茂 幸 水谷恭子 矢部美紗 藤井良三



2020.9.9 入会 橋本 唯

【YMCA ニュース】

5月13日は神戸 YMCA 創立記念礼拝です。神戸YMCAの創設者の方々に思いをはせ、私たちの気持ちを一つにする機会になればと願っています。また、礼拝終了後にはお茶の会を予定しています。事前の申し込みは不要ですので、ぜひぜひご参加いただければと願っています。

【創立記念礼拝(137 周年)】

日 時：2023 年5月 13 日(土)15:00～16:30(14:30 開場)
会 場：神戸YMCA三宮会館チャペル(神戸市中央区加納町 2-7-11)
メッセージ:神田 健次 先生(関西学院大学 名誉教授)
説教題:「共に集う喜びと新たな使命」
聖書:新約聖書 マタイによる福音書9章 35～36 節



(連絡担当)